

## 2016年度 校誌「栗」部活動紹介

顧問 土井哲士 鳴川真一

主将 酒井龍太郎

部員数 1年 10名 2年 5名 3年 11名

マネジャー 1年 4名 2年 3名 3年 1名

「徳島県 NO1 のグラウンド」を目指し、日々献身を重ねている阿波ボールパークは、保護者や部長の協力のおかげで日増しに輝きを増しています。「革新～以和制技～」のスローガンのもと、現チームはその気持ちのこもった聖地で、先輩方の汗と想いに抱かれながら甲子園初出場の夢を目指しています。

日々の練習では、「和して同ぜず」選手間の会話を多くするために、そして、やらされる▶自らやる練習とするために選手ミーティングをタイミング良く行います。縦と横のつながりを太くし、本音をぶつけ合える、愛あふれる関係が「自主創造」の土台となります。常識を覆す阿波スタイルを確立するためにも、思いやりあふれるキャッチボールに始まり、練習をつくる練習で頭をひねることも僕らのスタンダードとなってきました。

先輩との夏、そしてこの秋、2大会連続のサヨナラ負けが、今僕たちを突き動かすエネルギー源です。この冬、「やりきる」をテーマにとことん献身し、夏には挑戦的な目標であるベスト8を達成します。僕たちならできると信じています。これからも野球部の応援をよろしくお願いいたします。